

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	EZ・レヴ RG	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.486	△RG	0.049	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

番

PAPからピンとの距離

4 1/2 インチ

研磨剤

比較対照ボール：レヴ RG

フレアーの幅 インチ

表面加工

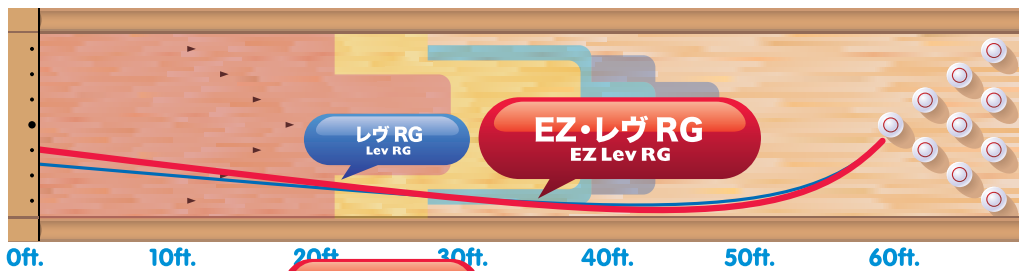
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

番

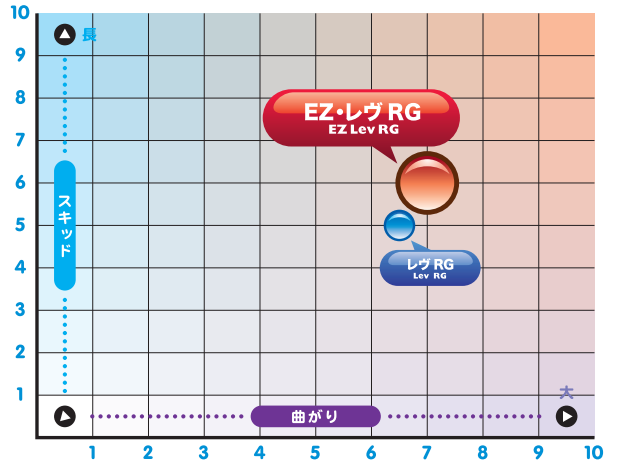
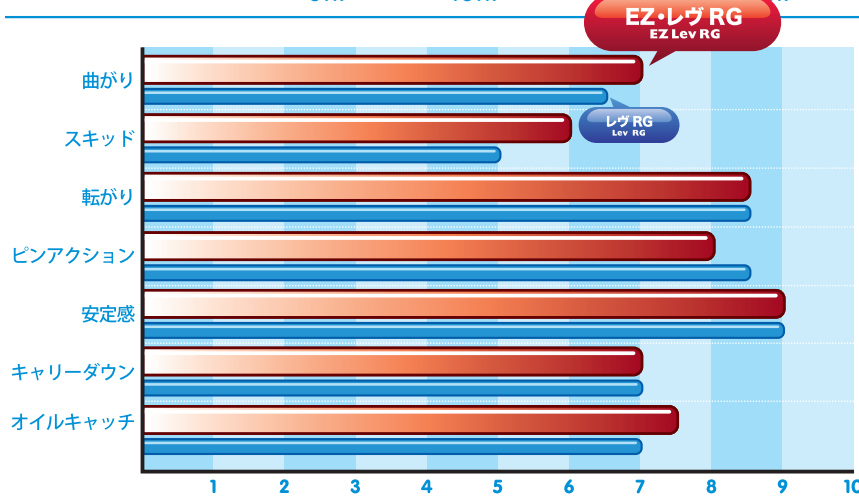
PAPからピンとの距離

4 1/2 インチ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

モーリッチ社よりマスバイアスコアの最先端であるEZ Revコアが発表されてから早くも3作目のボールとなります。初代のレヴ RGからインセーン・レヴ RG、そしてこのEZ・レヴ RGへと徐々にスキッド・スナップの性能へ移行し、更なるステージへと進んでいます。カバーストックには以前発売されたラベージIII・ラベージVIと同等のPremium HYBRID Coverstockを採用し、スキッドしながらバックエンドリアクション重視のスペックになっています。投球したイメージは、リアクティブ要素の強いカバーストックの影響か、フロント部分からのスキッド感は増し、**バックエンドまで強いコアの動力が残るイメージがあるので、バックエンドではその動力を開放できるだけのスナップ系の曲がりを得ることが出来ます。**前回のインセーン・レヴ RGはタイトなライン取りのスペシャリストでありましたが、今回はそのイメージよりも板目を多く取り投球することができます。私はトーナメントにインセーン・レヴ RGを持ち込み投球致しましたが、数多く発売されている中でもこのボールをチョイスしたのは、**ピンアクションの良さと軸移動完了の良さでありました。**「ピンヒットまでに軸移動が甘いとタップの原因になる」。EZ Revコアのボールはその軸移動がすばらしく、その軸移動がピンアクションにも多大な反映をしていると思います。このEZ・レヴ RGも同様に**しっかりとした軸移動とピンアクションは継承**されていますので、スキッド・スナップのリアクションと軸移動及びピンアクションの良さを感じて頂けたらと思います。

特記事項

このボールの名前の由来は簡単にピンが倒せることからEZ(イージー)と付けられました。